

FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

十和田農場での思い出

環境創造系環境解析学研究室 教授 田中 勝千

教育の場（教育研究棟）と研究の場が同じ敷地内にあることは本学のメリットの一つです。1981年に助手として着任してから今日まで、教育と研究のいずれも十和田農場の恩恵に預かりました。1982年からトラクター実習と測量学実習（I, II）が、1983年から畜産機械学実習（現在の環境情報学実験）が始まり、牧草・トウモロコシの管理・収穫作業の実習の場として、また、地形測量の場として活用させて頂きました。

卒業生が集まれば採草地やトウモロコシ畑を舞台とした昔話で盛り上がります。K社トラクター（ターボ付42PS）や国内初輸入の傾斜地用小型トラクターTT33（27PS）が牧草地を走り回り、その後を学生達が追いかける（写真1）。作業能率調査からGPSを装着した自律型トラクターの開発へ進み、更に精密農業に繋がる光センサを装備した収穫作業に明け暮れる。現在ではドローンを用いたスマート農

業の研究に取り組んでいます。広大な圃場（と言っても飼料畑は20 haから12 haに縮小）は、単なる飼料生産の場以上に教育研究に貢献していることを知って頂ければ幸いです。当時の山崎主任には、現場での作業方法や学生の安全確保など厳しくご指導いただきました。以来、農場職員の皆様には大変お世話になってきました。本当に有り難うございました。記してお礼申し上げます。



写真1 超音波センサを取り付けたTT33型トラクターでトウモロコシの草高を計測する様子

私にとっての農場

獣医学臨床教育推進室 教授 菊池 元宏

私が獣医学科の2年生として十和田に住み始めたのは昭和51年(1976)3月のことでした。私は下北半島の田舎の生まれでしたが、家畜と呼ばれる動物、牛、馬、豚、緬山羊には触れたことがなく、辛うじて庭先で飼われていた鶏に触れたことがある程度の経験しかない状態でした。

初めて家畜に触れる機会を持てたのは、研究室専攻で臨床繁殖学研究室に所属した3年生後期からでした。初めて触れた牛は日本短角種の雌牛だったと思うのですが、僕らの10倍はあろうかという体の大

きさで、こちらをジッと見ているのですがそれ程フレンドリーでもなく、最初に命じられた「捕まえろ」というミッションを遂行するため一生懸命追いかけると、向こうも負けじと一生懸命逃げ続け、ついにはこちらが根負けする事態になってしまいました。しかし、この動物に触れ、扱うということは動物を知る第一歩であり、その場を提供してくれた農場が、大動物獣医師を目指した私の重要な場所であったとは間違いのないことだと思います。長い間お世話になり、ありがとうございました。

F S C ありがとう

獣医寄生虫学研究室 教授 工藤 上

40年に亘る在職中は十和田農場と八雲牧場において獣医学科2年の獣医学入門実習や卒業論文研究、小学生を対象にした夏休み宿泊体験学習など色々とお世話になりました。

中でも八雲牧場では数年に亘って放牧牛を対象に消化管内線虫の駆虫薬に対する感受性に関する卒業論文研究を実施させていただきました。学生とともに実習所に寝泊まりし、牧場の職員にお手伝い願いながら、牛の体重測定、駆虫薬の投与、糞便の採取を実施しました。それにより北海道にもイベルメクチン耐性の牛消化管内線虫が分布することを確認できました。

また、十和田農場では羊の消化管内線虫の動態調査や駆虫薬の感受性試験を行うことができました。これらも卒業論文としてまとめさせていただきました。

このように北里大学獣医学部フィールドサイエンスセンター（FSC）には教育・研究に多大なるご協力をいただき、心より感謝しております。

どうもありがとうございました。



2008年に生涯学習の一環として十和田市内の小学生を対象に八雲牧場で「北海道 まるごと体験 in 北里大学」を実施しました。私は生涯学習委員として同行しました。子供たちは牧場体験の他に様々な生き物の採集やBBQ、キャンプファイヤーなどを楽しみました。良い思い出です。

今号のどうぶつ紹介



羊 サフォーク種



3月に生まれたサフォーク種の子羊です。例年、サフォーク種の個体管理は番号で行っていましたが、今年は名前もつけることにしました。どんな名前がついているかは、子羊の首にかかっているタグを見ればわかります。農場は今、かわいい子羊の声でにぎわっていますよ！

次号の予定と編集後記

4月 牛の分娩
5月 羊の分娩

今回はFSCにゆかりのあるお三方がご退職されるのに伴い、FSCでの思い出をご寄稿していただきました。ご協力ありがとうございました。そして、長い間お疲れさまでした。

ところで、4月から農場事務室が現在の3号館1階から2号館2階の保健室の前に引越します。耐震の関係で3号館は閉鎖となってしまうので、お間違えの無いようよろしくお願いいたします。

春からはピカピカの2年生がやってきますし、牛も羊も生まれます。新しい場所で新しい季節を楽しみたいと思います。

（編集：岩城）